

Mt.Higorl

アインファルト地方の中央部に聳え立つ広大な山岳地帯、別名「アインファルトの屋根」。東西に横たわっており、ここより北はツンドラ地帯、南は鬱蒼とした針葉樹林が広がっている。中央付近は非常に険しい山脈となっており、また高山地帯の大部分は一年中雪に閉ざされているが、その地下には豊富な鉱物資源の存在が確認されている。エナール社の台頭以前は、その地下資源を巡って様々な組織による激しい争いが頻発していた。現在はエナール社の主導で大規模な採掘作業が行われており、その山腹には複数の坑道が口を開け、そこで採掘された資源はハイゴール連絡橋を初めとする輸送路を通して工業地帯に運搬される。ここで発掘された資源がそのままエナールの発展の源であり、劣悪な自然環境にもかかわらず、同社にとって最重要拠点の一つとなっている。

また軍事拠点としての意味合いも強く、連絡橋を利用した強固な防衛ラインと百を超える無数のトーチカによって極度に要塞化されている。さらにその熾烈な自然環境は天然のECMとでも言うべき状況を作り出しており、レーダーやECMに変調をきたす事は日常茶飯事。電子戦装備を施された機体ならともかく、そうでない機体ならまともに戦闘すら行えず、場合によっては遭難して帰還できないことすらある。

- [関連項目](#)

[ハイゴール連絡橋](#)

[ハルプインゼルブルグ](#)